

今月の一言 NO.212

キーワード：変化対応

激変するビジネス環境に適応することが企業には求められており、変化への適応に遅れることは、競争に負けることを意味します。企業が競争に負けるということは市場から退場、つまり事業の大幅縮小や倒産もあり得るということです。

私を含めた経営者には、変化対応に遅れてしまうことへの危機感が常にあります。チームリーダーにも、この経営者の危機感が伝わっているのではないのでしょうか。

加えて、日本は人口が減っています。働く人の人口である「労働力人口」は今後さらに急激に減少していくことがわかっています。日本政府が「働き方改革」を進めるのは、この労働人口の減少に対応するためです。

対応方法は大きく分けて二つです。一つは女性やシニア、外国人など、これまで日本ではあまり働いていなかった人たちにも働いてもらうこと。これによって労働人口の減少を抑えようとしています。

もう一つが、生産性を上げる方法です。一人ひとりがこれまでの半分の時間で同じ成果を出すことができれば仕事の生産性は2倍に上がります。だから、残業を削減して同等かそれ以上の成果を出すことがもとめられているのです。

こうしたことから、チームリーダーの仕事にも、チームのメンバー一人ひとりの仕事にも、かつてないほどスピードがもとめられるようになっていきます。

著書：4倍速で成果を出すチームリーダーの仕事術 著者：高橋恭介

これが当たり前！からの変化

令和元年8月23日

さいのう とおる

追伸：夏バテしないように、体調管理をお願いします。